

## 【目次】

### 1. アーカイブ No.35

連載「日本労働会館物語」第32回

＜社会民衆党の結成その3＞

2. 11/15(土) 団体見学・JAM 神奈川役員 OB 会 2025 年度研修会 11 名

3. 11/22(土) 団体見学・全国自治団体労働組合連合(自治労連)・  
中央執行委員会 17 名

4. 11/26(水) 団体見学・UA ゼンセン新入局員研修会 6 名

5. 11/27(木) 団体見学・UA ゼンセン新入局員研修会 6 名

6. 年末年始の休館日のお知らせ

---

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

### 1. アーカイブ No.35

連載「日本労働会館物語」第32回 2011.11.28 発行の第41号に掲載

＜社会民主党の結成その3＞

明治 34(1901)年 5 月 18 日に結党し、19 日に届出を行った社会民主党。これに対し政府は、18 日の内務省高等官警視総監会議で「社会主義鎮圧のため社会民主党を禁止すべし」との決定を行い、19 日(日)には神楽坂警察署長が惟一館を訪ね、日曜演説を行っていた安部磯雄に解散命令を伝えました(『社会主義の誕生—社会民主党 100 年』。以下、同書参照)。

安部はすぐさま毎日新聞社に木下尚江を訪ね、対応を協議します。彼らは既に「社会民主党宣言書」を掲載した『労働世界』第 79 号(労働組合期成会機関誌。1901 年 5 月 20 日付)を臨時発刊しており、その処置が急務でした。『労働世界』第 79 号(5000 部印刷)には 3 頁にわたって「社会民主党宣言書」が掲載され、残り 1 頁には「社会民主党党則」などが載せられていました。また、既に『労働世界』は全国の新聞社に発送され、5 月 20 日(月)を期して新聞紙上に掲載するよう依頼が行われていました。

安部らは当局の没収を防ぐため『労働世界』を手分けし、自宅に持ち帰ります。なお、各新聞社へ送られた「社会民主党宣言書」は、政府が新聞掲載を禁止し地方に示達したため多くの新聞に掲載されることはありませんでした。それ

でも木下尚江のいる『毎日新聞』、幸徳秋水と河上清のいる『万朝報』、『報知新聞』、『日出国新聞』は、20 日付朝刊に掲載しました。

こうして「日本で最初の社会主義政党」である社会民主党は結社禁止となりましたが、「社会民主党宣言書」は 1 雑誌・5 新聞に掲載され、「わが国社会主義史上の歴史的文献」として残ることになったのです。

この後、結党を禁止された安部、片山潜ら 6 名は 6 月 3 日、新たに党名・党則を変更した社会平民党の結党を届け出ますが、これは即日禁止となりました。このため彼らは社会主義協会を復活させ、「社会主義の原理を討究し之を我邦に応用するの可否を考査」することになります。

なお、社会民主党への正式の結社禁止命令は、20 日に神田警察署に呼び出された木下尚江に対し警視総監名で出されました。参考にこの「命令」を以下に掲載します。

「社会民主党主幹者 片山潜 木下尚江

社会民主党は安寧秩序に妨害ありと認むるを以て治安警察法第八条第二項に依り其結社を

禁止する旨内務大臣より達せられたり 右伝達す

明治三十四年五月二十日

警視総監 安楽兼道」

## 2. 11/15(土) 団体見学・JAM 神奈川役員 OB 会 2025 年度研修会 11 名

常設展示「日本労働運動の 100 年余」を解説講演。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余を解説。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学んだ。

## 3. 11/22(土) 団体見学・全国自治団体労働組合連合(自治労連)・中央執行委員会 17 名

常設展示「日本労働運動の 100 年余」のを中心に戦前・戦後の労働運動の詳細。政党政治の戦前戦後の歴史。特に政治面では戦後の社会党と民社党との関係、なぜ国民民主党なのか。運動面では、期成会の結成と解散、ユニテリア

ンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説詳細を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学んだ。

4. 11/26(水) 団体見学・UA ゼンセン新入局員研修会 6 名

5. 11/27(木) 団体見学・UA ゼンセン新入局員研修会 6 名

常設展示「日本労働運動の 100 年余」を解説講演。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余を解説。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学んだ。

## 6. お知らせ

年末年始の休館日

2025 年 12 月 27 日(土)～2026 年 1 月 4 日(日)

---

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

---

発行: 友愛労働歴史館

責任者: 藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL 03-3453-5386

E メール [yuairodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuairodorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

---

惟一館から 131 年、友愛会から 113 年

---